

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達

○事業所名	慶生会 K I D S ステージ四條畷		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用満足度	それぞれのお子様と保護者のニーズを丁寧に汲み取り、個別に対応するようにしています。毎回の利用後には、来所前よりも楽しく前向きに安心して帰宅できることを目標に支援を行っています。	新入職員にもこの取り組みの大切さが伝わり、個々人が主体的に意識し行動できるようにするため、日々の支援の振り返りを大事にし、年間研修を計画実施していきます。
2	適切な支援の提供	専門職によるアセスメント、児童指導員等加配による充実した支援体制を取り、個々のお子様に合わせて柔軟な支援を行っています。	専門職のスキル向上のために内外の研修を推奨します。また、専門職による伝達研修も検討しています。
3	保護者支援	送迎がなく保護者同伴での利用のため、毎回の利用時に保護者が気軽に相談できる体制を取っています。専門職や経験豊富な職員の配置もなされているため、さまざまな相談に対応できます。	自事業内の連携をさらに促進し、相談内容に応じて専門職の派遣や職員からの相談が気軽にできるような体制を検討します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもの交流	個別または小集団にて45分間のご利用のため、事業所を出ての地域交流に焦点を当てた活動までは組み込みにくい状況です。	地域のイベントや祭りなどに参加する形で地域のお子さんとの交流を図ることができないか検討していきます。
2	地域住民との交流や情報発信	個別または小集団にて45分間のご利用のため、地域住民との交流に焦点を当てた活動までは組み込みにくい状況ですが、災害時の避難や緊急時の対応では必要な取り組みと考えています	まずは、地域住民の皆さんに事業所と利用児のことを知ってもらえるように、事業所についての情報発信を検討します。